



## 2025年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月11日

上場会社名 株式会社 Olympicグループ 上場取引所 東  
コード番号 8289 URL <http://www.olympic-corp.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大下内 徹  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 木村 芳夫 TEL 042-300-7200  
半期報告書提出予定日 2024年10月15日 配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無： 無  
決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年3月1日～2024年8月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期中間期	49,901	8.9	241	△8.2	102	△37.8	6	△95.9
2024年2月期中間期	45,812	△3.0	263	△2.1	164	△18.7	161	14.3

(注) 包括利益 2025年2月期中間期 7百万円 (△96.5%) 2024年2月期中間期 214百万円 (39.5%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期中間期	0.29	—
2024年2月期中間期	7.01	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年2月期中間期	71,510	25,332	35.4	1,102.80
2024年2月期	65,003	25,784	39.7	1,122.47

(参考) 自己資本 2025年2月期中間期 25,332百万円 2024年2月期 25,784百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2025年2月期	—	0.00	—	—	—
2025年2月期（予想）	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2025年2月期の連結業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	102,000	12.2	1,350	608.8	1,050	—	500	—	21.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年2月期中間期	23,354,223株	2024年2月期	23,354,223株
② 期末自己株式数	2025年2月期中間期	383,501株	2024年2月期	383,501株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年2月期中間期	22,970,722株	2024年2月期中間期	22,970,722株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。
- ・業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	5
中間連結損益計算書	
中間連結会計期間 .....	5
中間連結包括利益計算書	
中間連結会計期間 .....	6
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2024年3月1日～2024年8月31日)におけるわが国経済は、景気は緩やかに回復しているとされる一方で、円安や資源高により物価の上昇基調が続いており、先行き一段の物価上昇圧力が強まるとともに、金融資本市場の変動の影響などもあり本格的な景気回復及び消費喚起についてはいまだ不透明な状況であります。

小売業におきましては、インバウンド需要の増加や富裕層による高額商品の消費の伸びは大きいものの個人消費は依然として低調に推移しております。また、エネルギーコストの高止まりや食料品及び消費財の値上げが続いたことから実質賃金の減少が続いており、節約志向や選別消費の動きが強まっていることが個人消費回復の足かせになっていると考えられ、異業種・異業態との競合・価格競争が一層加速しております。これに加えて労務費や物流費の上昇もあり、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような環境のなか、当社グループではお客様のニーズにお応えしつつ、一層の経営効率の改善と次なる成長への基盤確立を目指して様々な施策を実施してまいりました。

食品分野におきましては、当社ならではの価値観と独自性のある商品を提供することにより店舗の魅力を高め、店舗規模に応じた商品構成への転換を進めながら作業効率の改善を図っております。また、2024年3月に東京都で食品スーパー7店舗の展開及び学校給食を中心とした食材の卸売をしている㈱三浦屋の全株式を取得し連結子会社といたしました。

ディスカウント分野におきましては、日用必需品を中心とした品揃えにより、季節や地域のお客様のニーズの変化に対応して商品構成の見直しを伴う改装を行うなど、既存店舗の集客力の向上に努め、コスト削減や在庫管理の適正化により経営効率の改善を進めております。

専門店分野におきましては、ペット専門会社の㈱ユアペティアでは、動物病院を経営する㈱動物総合医療センターと連携した総合サービスのペットショップとして、ご来店いただいたお客様に高いご満足を提供できるよう、㈱ユアペティア・サロンにトリミング・ペットホテル事業を移管し、機能と役割を明確にすることでサービスの向上に努めております。

DIY・ガーデニング専門会社の㈱おうちDEPOでは、職人さんにとって便利な店をコンセプトとし、プロのお客様のきめ細かい需要に応えてまいりました。

また、エアコンの取り付け・クリーニングに加えて、電気・ガス・水 廻りなどの住宅設備機器の販売と設置を専門に行う㈱OSCホームファシリティにおいて、「お客様のお困りごと解決」をコンセプトとした「住まサボ」の展開を拡大しております。

自転車販売会社の㈱サイクルオリンピックでは、独自商品の店舗渡しを基本としたECサイトを開設して販売チャネルを拡大するとともに、電動アシスト自転車のリユース事業、バッテリーの盗難補償など、新たなサービスを導入してまいりました。また自転車企画製造会社の㈱OSCサイクルでは、独自商品である「FREE POWER」の新車種開発とコストの最適化に取り組んでおります。

これらの方針に基づきながら、2024年4月に既存店である食品スーパーマーケット「カズン関原店」(東京都足立区)を新たに「Olympic関原店」としてリニューアルし、新規出店につきましても2024年6月に食品スーパーマーケット「Olympic朝霞泉水店」(埼玉県朝霞市)を開店させるなど、業容の拡大に向けて積極的な営業活動を行ってまいりました。

管理面では、前年に続き高い水準の賃上げを実施したうえでグループ全体を通じた店舗運営における作業改善による業務の効率化を進め、コスト上昇等を見据えて費用対効果を検討しながら徹底した経費の節減を継続してまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高に営業収入を加えた営業収益は499億1百万円(前年同期比8.9%増)となり、費用削減に努めてまいりましたが子会社株式の取得に係る付随費用を一括費用計上したこともあり、営業利益は2億41百万円(前年同期比8.2%減)となりました。なお、経常利益については金利上昇等の影響もあり1億2百万円(前年同期比37.8%減)となり、投資株式の保有意義や経済的合理性を検証しつつ売却を進めるという方針に基づき投資有価証券売却益の計上がありましたものの、親会社株主に帰属する中間純利益については6百万円(前年同期比95.9%減)となりました。

また、EBITDA(営業利益+減価償却費及びのれん償却費)は13億36百万円(前年同四半期は12億84百万円)でありました。

なお、当社グループは、小売事業の割合が高く、小売事業以外の事業に関しては重要性が乏しいと考えられるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ65億6百万円増加し715億10百万円となりました。これは主に現金及び預金、商品、のれんの増加等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ69億58百万円増加し461億77百万円となりました。これは主に買掛金、長期借入金が増加したこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億51百万円減少し253億32百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する中間純利益を計上したこと及び配当金の支払いにより利益剰余金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の通期連結業績につきましては、最近の業績等の動向を踏まえ、2024年4月12日付で公表いたしました2025年2月期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては本日(2024年10月11日)に公表いたしました「2025年2月期中間連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,955	4,820
売掛金	1,458	2,293
商品	10,372	11,434
その他	1,554	1,407
貸倒引当金	△0	—
流動資産合計	16,340	19,956
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,565	12,520
土地	14,820	14,820
その他（純額）	2,280	2,632
有形固定資産合計	29,666	29,972
無形固定資産		
のれん	379	1,839
その他	1,149	1,366
無形固定資産合計	1,528	3,205
投資その他の資産		
敷金及び保証金	14,052	14,439
その他	3,414	3,934
投資その他の資産合計	17,467	18,374
固定資産合計	48,662	51,553
資産合計	65,003	71,510
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,874	8,799
短期借入金	17,097	16,795
未払法人税等	165	140
賞与引当金	254	221
その他	2,686	3,538
流動負債合計	27,078	29,495
固定負債		
社債	52	36
長期借入金	10,061	13,386
退職給付に係る負債	20	21
資産除去債務	893	960
その他	1,113	2,278
固定負債合計	12,140	16,682
負債合計	39,219	46,177
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,946	9,946
資本剰余金	9,829	9,829
利益剰余金	5,971	5,518
自己株式	△293	△293
株主資本合計	25,454	25,001
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	329	330
その他の包括利益累計額合計	329	330
純資産合計	25,784	25,332
負債純資産合計	65,003	71,510

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)  
(中間連結会計期間)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
売上高	42,623	46,239
売上原価	28,304	30,846
売上総利益	14,319	15,393
営業収入	3,188	3,661
営業総利益	17,507	19,054
販売費及び一般管理費	17,244	18,813
営業利益	263	241
営業外収益		
受取利息	11	11
受取配当金	14	16
その他	18	20
営業外収益合計	44	48
営業外費用		
支払利息	141	181
その他	1	6
営業外費用合計	143	187
経常利益	164	102
特別利益		
固定資産売却益	151	5
投資有価証券売却益	12	65
特別利益合計	164	70
特別損失		
固定資産除却損	41	39
賃貸借契約解約損	17	—
訴訟関連損失	18	—
特別損失合計	76	39
匿名組合損益分配前税金等調整前中間純利益	251	133
匿名組合損益分配額	△67	△24
税金等調整前中間純利益	318	157
法人税、住民税及び事業税	73	81
法人税等調整額	84	69
法人税等合計	157	151
中間純利益	161	6
親会社株主に帰属する中間純利益	161	6

(中間連結包括利益計算書)  
(中間連結会計期間)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
中間純利益	161	6
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	53	0
その他の包括利益合計	53	0
中間包括利益	214	7
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	214	7



(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記等)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

**【セグメント情報】**

当社グループは、「小売事業」の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。